



# 行政と議会の両輪で取り組む より良いまちづくり

一方、中心市街地におきましては、平成28年熊本地震以降、懸案となっており、また、新庁舎の建設工事が終盤を迎えております。待望の新庁舎開庁は、本年2月14日予定となっておりますが、これまでの分庁方式に比べ、利便性が格段に向上いたします。今後竣工を迎えるにあたり、

さて、本市における行政と議会が両輪となり取り組むべき課題の1つに、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興が挙げられますが、この課題に対し、市議会では昨年10月、議員発議により「令和2年7月豪雨に関する特別委員会」を設置いたしました。今後、この特別委員会における各種審議や現地調査等を踏まえ、市議会全体で坂本町を中心とした被災地の復旧、さらには創造的復興に向けた進捗に注視し、議決機関としての役割を果たして参りたいと考えております。

結びになりますが、新しい年が穏やかな年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。

八代市議会議長 成松 由紀夫



# 誇るべきふるさと八代の 「未来への新たな挑戦」を始動



令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興では「さかもと復興商店街」のオープンや災害公営住宅の建設地を決定することができ、少しずつではありますが、着実に創造的復興への歩みを進めているところでございます。また、防災行政無線に代わる「防災情報配信システム」の運用を開始するとともに、2年ぶりとなる住民参加型防災訓練を実施し、熊本地震

昨年を振り返りますと、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症が市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼす中、延期されていた東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、本市出身で、バドミントン男子ダブルスに出場された園田啓悟選手、女子ダブルスの福島由紀選手、5人制サッカーの黒田智成選手の活躍は、子どもたちに夢と希望を、そして、地域に感動と元気を与えていただきました。

八代市長 中村 博生



り、これもひとえに市民の皆様のご理解とご協力の賜であると心より感謝いたしております。

さらに、新型コロナウイルス感染症につきましましては、市内の経済活動から医療体制に至るまで、未だ社会生活全般に大きな影響を及ぼしておりますが、市議会といたしましてもウィズコロナ、アフターコロナを見据え、地域経済の回復はもとより、各地域の活性化や公共福祉の向上に資する議会運営に取り組んで参る所存です。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、令和4年の初春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から本市議会の運営に対する格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。八代市議会は、昨年8月の改選を経て、第5期のスタートを切ったところでございます。本年も市議会議員一同、より一層気を引き締め、新たな気持ちでその職責を果たしていく所存でございます。

や豪雨災害の経験をふまえ、平時からの備えに力を入れております。昨年7月には、多文化共生社会の実現に向けた「やつしろ国際協会」の設立や民俗文化財の保存継承と魅力発信の場となる「お祭りでんでん館」のオープンなど、八代のさらなる魅力発信にも努めているところでございます。

今年は、平成28年熊本地震で被災し建設を進めていた新庁舎での業務が始まる記念すべき年となります。3期目のテーマとして掲げた「未来への新たな挑戦」のもと「ふるさと八代」を未来へつなげるべく、職員一丸となり「魅力ある選ばれるまちづくり」の実現に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、笑顔と希望にあふれる一年となりますよう、心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。